

平成28年度 村上市学校保健部 活動報告

部長 平 久美子

1 研究主題

児童の「生きる力」を育む学校保健活動の充実をめざして
～健康相談活動における個別事例への対応評価Ⅱ～

2 研究の概要

昨年度調査した「個別事例の対応自己評価」の結果をふまえて、健康相談を行うにあたり、児童が訴えてきた身体症状に対して、器質性疾患を見逃さないためのフィジカルアセスメントの研修を行う。その後、1年次と同様に頭痛、腹痛の訴えで保健室に来室した児童への初期対応について、自己評価用紙に回答する。この調査を実施し、昨年度と比較して研修後どのような変容が見られたか分析、考察を行う。

3 研究・活動の実際

- 4月 第1回部会 … 活動の方向性について
- 6月 第1回地区代表部員会 … 研究・研修について内容・方法の検討
- 第2回部会 … 研修・研究内容の確認
- 8月 第2回地区代表部員会 … 研修会の内容・方法等の打合せ
- 第3回部会（研修会） … 来室者への対応事例（代表部員の寸劇）を見て、グループ協議
- 9月 第4回部会（研修会） … 健康相談
「フィジカルアセスメント」について
講師 県立教育センター指導主事
森 和香子 様
- 9・10月（調査期間9月8日～10月26日）各校7例程度提出。
【主な評価項目（昨年度と同様に12項目）】
①問診 ②観察（行動・態度・表情）③バイタルサイン ④触診的手法
⑤検診等の結果の活用 ⑥心身の医学的知識 ⑦保健室の施設・設備
⑧保健室の図書・掲示物 ⑨保健室の環境空間
⑩スキンシップ・タッチング ⑪視線の位置・声の大きさ等の配慮
⑫傾聴的な態度の応用技法の活用
- 11月 第3回地区代表部員会 … 集計結果分析・考察
- 2月 第5回部会 … 集計結果の共有

4 成果と課題

(1) 成果

昨年度の調査と比較すると、評価項目の⑦施設・設備以外は「適切である」と答えた人のポイントが上がっていた。感想等からも、研修の内容が活かされ、来室者に対してより意識した対応を行うようになった様子が見える。特に課題であったフィジカルアセスメントに関しては、児童が訴えてきた身体症状に対して、器質性疾患を見落とさないためにも根拠をもった対応が大切であり、研修を通してその裏付けとなる内容を確認することができた。

(2) 課題

同時に大勢来室する休み時間や緊急時など、あらゆる場面での対応が確実にできるように研鑽し、保健室の環境を整えていく必要がある。